

乳児期の園児の保育・自己チェック

【主幹保育教諭】 田村央美

領域	内容	4月～9月 平均			10月～3月 平均			まとめ
		十分援助・ 指導した	援助・ 指導した	援助・指導 できなかった	十分援助・ 指導した	援助・ 指導した	援助・指導 できなかった	
健やかに伸び伸びと育つ	① 保育者等の感情豊かな受容の下で、生理的・心理的欲求を満たし、心地よく生活をする。	1	1		1	1		ホールで体を動かした後は、室内でゆったり遊びができる場所を作り、気持ちを落ち着かせる時間を作るように配慮した。 なかなか給食を食べてもらえず苦戦した。 事故や怪我をしないように見守ることが難しかった。
	② 一人一人の発育に応じて、ほう、立つ、歩くなど、十分に体を動かす。	1	1		1	1		
	③ 個人差に応じて授乳を行い、離乳を進めていく中で、様々な食品に少しずつ慣れ、食べる事を楽しむ。		1	1	1	1		
	④ 一人一人の生活のリズムに応じて、安全な環境の下で十分に午睡をする。	1	1		1	1		
	⑤ おむつ交換や衣服の着脱などを通して、清潔になることの心地よさを感じる。	1	1		1	1		
身近な人と気持ちを通じ合う	① 園児の発達を踏まえた、応答的な触れ合いや言葉掛けによって、欲求が満たされ、安定感をもって過ごす。		2		1	1		クラス以外の保育教諭や異年齢児との交流をたくさん持つことが出来た為、行事や一斉保育の時に泣く子が少なく言語理解や発語に繋がった。 歌や手遊びの時など保育者自身ももっと声をだして楽しみながらできれば良かった。
	② 体の動きや表情、発声、喃語等を優しく受け止めてもらい、保育者等とのやり取りを楽しむ。		2		1	1		
	③ 生活や遊びの中で、自分の身近な人の存在に気づき、親しみの気持ちを表す。		2		1	1		
	④ 保育者等による語り掛けや歌い掛け、発声や喃語等への応答を通じて、言葉の理解や発語の意欲が育つ。		2		1	1		
	⑤ 温かく、受容的な関わりを通じて、自分を肯定する気持ちが芽生える。		2			2		
身近なものと関わり感性が育つ	① 身近な生活用具、玩具や絵本などが用意された中で、身の回りのものに対する興味や好奇心をもつ。		2		1	1		製作では子どもたちが興味を持つように工夫して導入、活動出来たのでいろんなことに興味を示してくれた。 遊具や玩具の遊び方を、型にはまらず、子どもたちの遊びから発展していく可能性を考えて環境設定する必要があった。
	② 生活や遊びの中で様々なものに触れ、音、形、色、手触りなどに気づき、感覚の働きを豊かにする。		2		1	1		
	③ 保育者等と一緒に様々な色彩や形のものや絵本などを見る。		2		1	1		
	④ 玩具や身の回りのものを、つまむ、つかむ、たたく、引っ張るなど、手や指を使って遊ぶ。		2		1	1		
	⑤ 保育者等のあやし遊びに機嫌よく応じたり、歌やリズムに合わせて手足や体を動かして楽しんだりする。		2		1	1		

満1歳以上満3歳未満の園児の保育・自己チェック

【主幹保育教諭】 田村央美

領域	内容	4月～9月 平均			10月～3月 平均			まとめ
		十分援助・指導した	援助・指導した	援助・指導できなかった	十分援助・指導した	援助・指導した	援助・指導できなかった	
健康	①保育者等の愛情豊かな受容の下で、安定感をもって生活する。	1	2		1	1		前期はサーキット遊びを取り入れ、全身を使った遊びが充分取り入れられたが後期は少なめだったのもっと積極的に外遊びやホール遊びを取り入れた方が良かった。 トイトレーニングを進めたかったが園生活への慣れを優先し情緒の安定が認められてから行ったので成功する子が少なく時間がかかってしまった。 衣服の着脱に興味を持つ子が多く絵本や人形遊びの延長で脱ぎ着が上手になった。声掛けをしっかりと出来た。
	②食事や午睡、遊びと休息など、園生活のリズムが形成される。	1	2		1	1		
	③走る、飛ぶ、登る、押す、引っ張るなど全身を使う遊びを楽しむ。		3			2		
	④様々な食品や調理形態に慣れ、ゆったりとした雰囲気の中で食事や間食を楽しむ。		3		1	1		
	⑤身の回りを清潔に保つ心地よさを感じ、その習慣が少しずつ身に付く。	1	2		1	1		
	⑥保育者等の助けを借りながら、衣類の着脱を自分でしようとする。		3		1	1		
	⑦便器での排泄に慣れ、自分で排泄ができるようになる。		1	2	2			
人間関係	①保育者等や周囲の子ども等との安定した関係の中で、共に過ごす心地よさを感じる。		3		1	1		子ども同士の関わりはまだ無い為、保育者が仲立ちする事により、子ども同士の関わりを促すことが出来たのもっと積極的に関わりが必要だと感じた。 遊びを工夫し、少しずつ子ども同士の遊びに発展していくように環境設定できたのが良かった。 子ども同士のトラブルに保育者が仲立ちすることで言葉を代弁したり、気持ちに寄り添うことで関わりが増えたことが育ちに繋がった。
	②保育者等の受容的・応答的な関わりの中で、欲求を適切に満たし、安定感をもって過ごす。		2	1	1	1		
	③身の回りに様々な人がいることに気付き、徐々に他の子どもと関わりをもって遊ぶ。		3		1	1		
	④保育者等の仲立ちにより、他の子どもとの関わり方を少しずつ身に付ける。		3		1	1		
	⑤園生活の仕方に慣れ、きまりがあることや、その大切さに気付く。		3		2			
	⑥生活や遊びの中で、年長児や保育者等の真似をしたり、ごっこ遊びを楽しんだりする。		3		2			
環境	①安全で活動しやすい環境での探索活動等を通して、見る、聞く、触れる、嗅ぐ、味わうなどの感覚の働きを豊かにする。		3			2		探索活動をする中で全てを取り除くのではなく、安全な範囲で自由に遊べるように配慮した結果、ストレスが軽減され、表情が多用になった。 絵本や遊具など、子ども達が自分で手に取り遊びやすいように工夫した結果、絵本に興味を持つ子が増え、読み聞かせの時間の反応が改善された。 色の種類を覚えたり、絵本を見て指差したり、様々な物に興味を示す姿が見られて良かった。
	②玩具、絵本、遊具などに興味をもち、それらを使った遊びを楽しむ。		3		1	1		
	③身の回りの物に触れる中で、形、色、大きさ、量などの物の性質や仕組みに気付く。	1	2		1	1		
	④自分の物と人の物の区別や、場所的感覚など、環境を捉える感覚が育つ。		3		1	1		
	⑤身近な生き物に気付き、親しみをもつ。		3			2		
	⑥近隣の生活や季節の行事などに興味や関心をもつ。		3			2		
言葉	①保育者等の応答的な関わりや話しかけにより、自ら言葉を使おうとする。		3		1	1		たくさん語り掛けたり、手遊び、歌などを通して言葉の発達が見られ、意思疎通が進んだ。 保育教諭が率先して声を発し、挨拶、歌の手本となることで声を出すようになった子が増えた。 生活に必要な言葉をその都度伝えることで語彙が増えていった。
	②生活に必要な簡単な言葉に気付き、聞き分ける。		3		2			
	③親しみをもって日常の挨拶に応じる。		3		1	1		
	④絵本や紙芝居を楽しみ、簡単な言葉を繰り返したり、模倣をしたりして遊ぶ。	1	2		1	1		
	⑤保育者とごっこ遊びをする中で、言葉のやり取りを楽しむ。	1	2		1	1		
	⑥保育者等を仲立ちとして、生活や遊びの中で友達との言葉のやり取りを楽しむ。		3		1	1		
	⑦保育者等や友達の言葉や話に興味や関心をもって、聞いたり、話したりする。		3		1	1		
表現	①水、砂、土、紙、粘土など様々な素材に触れて楽しむ。		2	1	1	1		夏の猛暑で外遊びの危険度が増し、プールを断念する日が多く残念だった。 様々な素材に触れることで興味を持ち表情も豊かになった。 手遊びを模倣することが多くなり、活動前に取り入れると集中して保育者をよく見るようになった。
	②音楽、リズムやそれに合わせた体の動きを楽しむ。		3		1	1		
	③生活の中で様々な音、形、色、手触り、動き、味、香りなどに気付いたり、感じたりして楽しむ。			3		2		
	④歌を歌ったり、簡単な手遊びや全身を使う遊びを楽しんだりする。	1	2		1	1		
	⑤保育者等からの話や、生活や遊びの中での出来事を通して、イメージを豊かにする。		2	1		2		
	⑥生活や遊びの中で、興味のあることや経験したことなどを自分なりに表現する。		2	1	1	1		

満3歳以上の園児の保育・自己チェック

【主幹保育教諭】 田村央美

領域	内容	4月～9月 平均			10月～3月 平均			まとめ
		十分援助・指導した	援助・指導できなかった	援助・指導できなかった	十分援助・指導した	援助・指導した	援助・指導できなかった	
健康	①保育者や友達と触れ合い、安定感をもって行動する。	2	2		3			友達同士で楽しく給食が食べられるように座席を工夫したり、その子の量に合わせた配膳を心掛けた結果完食できる子が増えた。 天気の良い日は、出来るだけ戸外遊びを取り入れ、楽しめるように配慮した。 衣服の調節を自らする子が少なかったため、一人ずつ声をかけて、暑い日は半袖シャツに、寒い日は長袖シャツに着替えるなど丁寧に教えたことで、着替えが自分で出来るようになってきたので、袋の結び方を指導した。 健康、安全面に十分配慮しながら生活することができた。
	②いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。	3	1		2	1		
	③進んで戸外で遊ぶ。	3	1		2	1		
	④様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。	3	1		2	1		
	⑤保育者や友達と食べる事を楽しみ、食べ物への興味や関心をもつ。	2	2		1	2		
	⑥健康な生活のリズムを身につける。	2	2		2	1		
	⑦身の回りを清潔にし、衣類の着脱、食事、排泄などの生活に必要な活動を自分でする。	3	1		3			
	⑧園生活の仕方を知り、自分たちで生活の場を整えながら見通しをもって行動する。		4		1	2		
	⑨自分の健康に関心をもち、病気の予防などに必要な活動を進んで行う。		4		1	2		
	⑩危険な場所、危険な遊び方、災害時などの行動の仕方が分かり、安全に気を付けて行動する。	2	2		1	2		
人間関係	①保育者や友達と共に過ごすことの喜びを味わう。	3	1		3			お友達とのトラブルの際言葉よりも手が出てしまう子どももいるのでその都度指導をしたが改善までは至らなかった。引き続き丁寧に教えていきたいと感じた。 自分の思いをうまく言葉で伝えられない時には、じっくり話を聞いたり、代弁してあげることでトラブルを解決することが出来た。 複数人で遊ぶとトラブルが起きてしまうので、その都度相手の話を聞くことを教えた。少しずつではあるが、一緒に遊ぶ楽しさを知り、思いを伝えあえるようになってくれた。思いやりの心を持ってもらうように指導したが、不十分だった。
	②自分で考え、自分で行動する。		4		1	2		
	③自分でできることは自分でする。	3	1		3			
	④いろいろな遊びを楽しみながら物事をやり遂げようとする気持ちをもつ。	2	2		1	2		
	⑤友達と積極的に関わりながら喜びや悲しみを共感し合う。	1	3		2	1		
	⑥自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く。		4		1	2		
	⑦友達のよさに気付き、一緒に活動する楽しさを味わう。	2	3			3		
	⑧友達と楽しく活動する中で、共通の目的を見だし、工夫したり、協力したりなどする。		4			3		
	⑨よいことや悪いことがあることに気付き、考えながら行動する。	2	2		1	2		
	⑩友達との関わりを深め、思いやりをもつ。		4		2	1		
	⑪友達と楽しく生活する中できまりの大切さに気付き、守ろうとする。	1	3		1	2		
	⑫共同の遊具や用具を大切に、皆で使う。	2	2		1	2		
	⑬高齢者をはじめ地域の人々などの自分の生活に関係の深いいろいろな人に親しみをもつ。		3	1		2	1	
環境	①自然に触れて生活し、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く。	1	3			3		遊びを通して色々な物に興味を持ったがそこから発展が上手く繋がれなかった。環境設定にもっと工夫が必要だった。 自然物を使って制作したり、雪で滑り台や雪だるまを作るなど季節ならではの遊びを考え、実践することができた。 小さな生き物にも命があることを伝え、いたわりの気持ちを持ってよう繰り返して指導していきたい。 戸外遊びや散歩の時に植物や虫、季節の変化など自然に触れる機会をたくさん設けた事で興味、関心をもつようになってくれたので、引き続き指導したいと感じた。
	②生活の中で、様々な物に触れ、その性質や仕組みに興味や関心をもつ。	1	3			3		
	③季節により自然や人間の生活に変化のあることに気付く。	3	1		2	1		
	④自然などの身近な事象に関心をもち、取り入れて遊ぶ。	2	2		1	2		
	⑤身近な動植物に親しみをもって接し、生命の尊さに気付き、いたわったり、大切にしたりする。	1	3			3		
	⑥日常生活の中で、我が国や地域社会における様々な文化や伝統に親しむ。	1	2	1	1	1	1	
	⑦身近な物を大切ににする。	3	2		2			
	⑧身近な物や遊具に興味をもって関わり、自分なりに比べたり、関連付けたりしながら考えたり、試したりして工夫して遊ぶ。	1	3			3		
	⑨日常生活の中で数量や図形などに関心をもつ。	1	3		2	1		
	⑩日常生活の中で簡単な標識や文字などに関心をもつ。		4		2			
	⑪生活に関係の深い情報や施設などに興味や関心をもつ。		2	2		1	2	
言葉	①保育者や友達の言葉や話に興味や関心をもち、親しみをもって聞いたり、話したりする。	1	3		2	1		絵本の読み聞かせを多く行い物語に親しみを持ってもらうようにした結果集中力がつき、沢山の言葉に触れることでひらがなにも興味を持ってくれたので絵本の楽しさをもっと伝えたいと感じた。 挨拶や返事がしっかりできるように、また乱暴な言葉や間違った言葉遣いは正して、自分も正しい言葉遣いをするように心掛けた。
	②したり、見たり、聞いたり、感じたり、考えたりなどしたことを自分なりに言葉で表現する。	2	2		2	1		
	③したいこと、してほしいことを言葉で表現したり、分からないことを尋ねたりする。	3	1		3			
	④人の話を注意して聞き、相手に分かるように話す。	2	2		3			
	⑤生活の中で必要な言葉が分かり、使う。	3	1		2	1		
	⑥親しみをもって日常の挨拶をする。	3	1		3			
	⑦生活の中で言葉の楽しさや美しさに気付く。		4			3		
	⑧いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする。		3			3		
	⑨絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像をする楽しさを味わう。	2	2			2	1	
	⑩日常生活の中で、文字などで伝える楽しさを味わう。	1	3			1	2	
表現	①生活の中で様々な音、形、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむ。	1	3			3		表現する楽しさを味わえるような活動をもっと取り入れれば良かった。 歌うことの楽しさや表現することの楽しさを一緒に歌うことで知ってもらえた。 絵を描くことが好きな子が多かったのいろいろな素材や画材を体験させたり、活動に取り入れることで楽しみを持ち、自ら遊びを発展させる姿が見られた。色彩についても活動に沢山取り入れたいと思った。
	②生活の中で美しい物や心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにする。	1	3			3		
	③様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う楽しさを味わう。		4			3		
	④感じたこと、考えたことなどを音や動きなどで表現したり、自由にかいたり、つくったりなどする。	3	1		3			
	⑤いろいろな素材に親しみ、工夫して遊ぶ。	2	2			3		
	⑥音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりなどする楽しさを味わう。	2	2			1		
	⑦かいたり、つくったりすることを楽しみ、遊びに使ったり、飾ったりなどする。	2	2		3			
	⑧自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりするなどの楽しさを味わう。		4			3		

認定こども園 多賀台保育園 自己点検・自己評価

令和5年度

『1』 = たいへん良い
『2』 = 良い
『3』 = 検討・改善を要す

《 教育・保育の計画の編成と実施に関する評価 》

項目	内容	評価			意見・改善策	
		1	2	3		
理念・方針・目標	目標について	(1)目標の「生命尊重」「正しきを見て絶えず進む」「よき社会人をつくる」に取り組んでいる。	○			職員間のコミュニケーションがスムーズにとれており、無理の無い目標設定が出来るようになった。
		(2)目標は、施設や地域の特徴を生かしている。	○			
		(3)目標は、前年度の反省を生かしている。		○		
		(4)目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っている。		○		
	教育・保育について	(1)指導計画は乳幼児の実態に即して作成している。	○			園児の減少により、個々に目が行き届くようになった。
		(2)教育・保育要領に基づく援助・支援を適切に行っている。	○			
		(3)環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫している。	○			
		(4)素材・用具を適切に活用している。	○			
		(5)評価結果を基に、保育の改善に努めている。	○			
	日時程	(6)1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよい。	○			
	行事について	(1)行事の種類や実施回数は適切である。	○			コロナ過以前の活動が再開できるようになり、人数制限無く活動できるようになった。保護者が子ども達の様子を見る機会が増えた事が最も良かった。
		(2)行事の狙いを計画や実施に十分生かしている。	○			
		(3)乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしている。		○		
		(4)計画・実施・評価・改善の体制をとっている。		○		
		(5)保護者の願いや意見を取り入れている。	○			

《 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価 》

項目	内容	評価			意見・改善策	
		1	2	3		
経営・組織	体制	(1)能率的・合理的な運営組織になっているか。	○			職員数に余裕がなく、補助し合いながら皆が頑張ってくれた。
		(2)職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	○			
		(3)職員の配置は適材・適所か。		○		
		(4)係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○		
	運営	(1)各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○			コミュニケーションが良好になり、意見を出し合える環境が整ってきた。
		(2)職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○			
		(3)打合わせ回数・時間・内容は適切か。	○			
	年齢別・クラス運営	(1)年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○			年齢ごとの目標を定めながらも、個々の成長に合わせて、焦らず対応出来た。
		(2)年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して別設定しているか。	○			
		(3)年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	○			
		(4)同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	○			
		(5)評価・資料(諸記録)を集積しているか。	○			

経営・組織	保健・安全指導	(1)年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○	従来のように保護者や地域・小学校との連携が図れるようになった為、改善された。
		(2)避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○		
		(3)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○		
		(4)乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	○		
研究・研修	園内研修・研究	(1)研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。		○	職員不足のため研修時間を確保することが難しかった。
		(2)所内研修の計画・運営は適切か。		○	
		(3)研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。		○	
		(4)研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。		○	
	園外研修・研究	(1)各種研究会・研修会・講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○		良く出来た。
		(2)各種研究会・研修会・講習会での内容を所内に研修還元しているか。	○		
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報をご正しく取り扱っているか。	○		適正に行えている。	
	(2)公文書收受・発送・処理を適切に行っているか。	○			
	(3)各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○			
施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○		施設の老朽化が進んでいるが、出来る範囲内で良く出来た。	
	(2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	○			
	(3)不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。	○			
	(4)掲示板・掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○			
出納・経理	(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○		出来ている。	
開かれた保育園づくり	施設間交流・連携	(1)他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○	合同スケート教室で他園との交流を行っているが、更に交流の場が作れると良いと思う。
		(2)他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で(乳)開設幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○	
		(3)指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。		○	
		(4)参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。	○		
		(5)日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○	
	家庭地域社会との連携	(1)参観日・老人ホーム慰問等を行っているか。		○	再開された地域行事には積極的に参加し、地域との交流が出来た。
		(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○	
		(3)(乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○	
		(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○	
	情報の発信	(1)保育園だより・クラス通信・ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○		ホームページや保護者へのメール配信により情報提供を行えた。
		(2)行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設に周知している。		○	
	外部評価	(1)第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。		○	検討したい。
		(2)地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○	